

国連の特別報告者に聞く イランの “いま”

2026.4.1 水 **19:00~21:00**
参加費：2,000円
(学生：無料)

※zoom (アドレスはPeatixチケットに記載)
※アーカイブ配信予定 (申込者のみ1ヶ月程度)

2月28日「アメリカがイスラエルと共に、イランに対して『大規模な戦闘作戦』を実施した」というニュースが飛び込んできました。

イランについては、今年1月「国連のイラン人権状況特別報告者の佐藤舞さんがイランの反政府抗議デモに参加し、負傷した人々が病院から連れ出され、治安当局に拘束されているとの報告を受けたと明らかにした。」という記事や、昨年には、イランの死刑執行が急激に増加しているという記事もありました。

市民の生命と人権が危険にさらされている時、私たちに何かできることはないのか、まずは知ることから始めたいと思います。

お話しは、イランの事件状況に関する特別報告者である佐藤舞さんです。時々耳にする「国連特別報告者」、実際はどのような人なのか、どんなことをされているのか、その役割等についても合わせてお伺いしたいと思っています。

画面オフ、匿名での参加もOKです。多くのご参加をお待ちしています。



講師

佐藤舞さん (社会学者・ロンドン大学
バークベック校人文社会科学部犯罪・司法政策研究所
(ICPR) 所長)

研究テーマ：死刑制度と裁判所・警察の正当性を
中心に世界規模での司法制度の健全性向上

※2024年7月、国連人権理事会より、
イラン・イスラム共和国における人
権状況に関する特別報告者に任命さ
れた。

